



NAGASAKI NISHI INFORMATION

第302号

令和 7 年 3 月 2 4 日 発行

編集責任者 初 村 一 郎

http://www.nagasaki-nishi.ed.jp

西高新聞

信頼され続ける学校 学びがいのある学校 居場所のある学校

校長室から

令和6年度 終わりにあたって

校長 初村 一郎

「タンポポの実は、羽根を持ち風に乗って遠くへ羽ばたき、新しい命を育んでいく。見方を変えれば、新しい世界を切り開いていくと言えよう。しかし、これが親タンポポの根元に落ちるようだと期待薄になる。そのことをタンポポは知っているので、羽根を付けて飛んでいくのである。」

これは、以前耳にした話で、なるほどな、と腑に落ちたのを覚えています。まさに西高生もタンポポの一つ一つの実であり、いつかは親元を、そして西高を離れ、新しい世界へと旅立ち、斬新にも大いに活躍することを願っています。ぜひ、偉い人になるよりも立派な人になってください。

以下、卒業式式辞の一部を転載することで、令和6年度の終わりを締めくくりたいと思います。これは卒業生だけでなく、在校生に向けても伝えたいメッセージです。

これから生き抜く皆さんの人生は、常に応用問題の連続であり、限られた情報と時間の中で、いかに迅速で合理的な判断ができるか、つまり、知識の豊かさではなく、知識を活用し解決へ導こうと果敢に挑んでいく態度が求められると思います。

こうした解決の糸口すら見つからないような問題に対し、いくつかの手掛かりを元に論理的に推論し概算して説明する力を「フェルミ推定」と言います。

身近で簡単な例をあげてみましょう。「日本にコンビニはいくつあるか？」

どうでしょう？「ネットで検索すれば済むじゃないか！」「知るかそんなもん！」と答えたくなる人もいるでしょうが、今から2つの視点で考えてみますので、頑張ってください。

まず、面積を手掛かりに、日本の国土面積を切りよく40万平方kmとした場合。仮に都市部では、1平方km四方に1軒の間隔でコンビニがあると想定してみます。地方には、その1/3くらいしかコンビニがないとすると、3平方kmごとに1軒という仮定が可能です。日本の国土の7割が森林ですので、都市部と地方と人が住まない地域の比率を5:25:70とすると、都市部は40万×5/100÷1=2万軒、地方は40万×25/100÷3≒33000軒、合わせて約53000軒ということになります。

今度は、人口を手掛かりに、日本の人口を切りよく1億人とした場合。1日1回、日本に住む5割の人がコンビニを利用すると想定してみます。都市部では1分に1回のペースで会計が行われ、地方では10分に1回のペースだとすると、1日24時間1440分の間に都市部では1440÷1=1440人、地方では1440÷10=144人、計1584人。つまり、コンビニ1軒あたりの平均利用者数は1584÷2=792人となり、1億×0.5÷792≒約63000軒ということになります。

どうですか？ についてこれましたか？ 実際のデータによると約56000軒だそうです。ここでは、正確な軒数を知りたいわけではなく、それを何とか導き出してきた根拠を、論理的に説明できるかどうか、推論の過程に価値を求めています。

他にも面白いテーマとして、「地球上に蟻は何匹いるか？」「長崎市にマンホールは何個あるか？」より社会生活に即せば、「朝の満員電車を改善するには？」「食品ロスを減らすには？」など。いずれにしても、考え込むのではなく、生き活きと頭を働かせ、思い切って「何々としてみる」と仮定して、持ち合わせた情報や知識を活用し、自分の考えを積極的に前に進めていこうとする意欲、そして、それを楽しむ心のゆとりを持ってほしいと思います。

現代社会は、国際化・多様化が進み多彩で便利である一方、すべての情報が揃っていない、あるいは情報の信憑性が疑われる状況が一般的です。このような不確実性の中でも、最良の判断を下す対応力を皆さんには大いに期待したいと思います。

「西高での学び」とは何か。それは、単なる知識だけではなく、授業、部活動、SSH、運動会などの行事に際しての様々な経験が作り上げた、「自分自身で考える力」すなわち「自律」です。

西高で学んだことのすべてを智慧の力に換え、皆さんの人生が、ますます光り輝くことを願っています。

第2回学校評議員会

2月5日に予定されていましたが第2回学校評議委員会は降雪のため、書面開催となりました。学外の学校評議員5名の方々からは「校訓「自律」の元で「自走と伴走」の実践を教職員が一丸となって展開し、今後も志高い西高生の一層の活躍を期待したい。」「西高だけの問題ではなく、長崎県を背負った進学校の役割を担って欲しい。」「具体的な進路指導を早めにやってもらえるとありがたい。」等の貴重なご意見を頂きました。今後も、頂いたご意見を教育活動に生かし、生徒一人ひとりが、社会で活躍できるような人財に育つよう取り組んで行きたいと思います。

【教頭 佐藤 健一】

第2回学校諸費検討委員会 2月13日(木)

本校では、教育活動を行う上で必要な学校諸費について、保護者の皆様の負担軽減及び、適正で透明性のある執行を図るために、県教委の指導による学校諸費検討委員会を設置しています。

本会には、保護者代表の委員である伊藤PTA会長様はじめ、2名の副会長様、1名のPTA監事様に出席をいただき、令和7年度の「学校徴収金」「学校指定物品」「補助教材」「進路指導費予算案等」及び令和8年度の「修学旅行計画」「海外研修旅行計画」について審議のうえ、ご承認をいただきました。

審議の内容等につきましては、5月のPTA総会等でご報告いたします。

【事務長 小林 英樹】

学校保健委員会 2月13日(木)

学校保健委員会を開催しました。新型コロナウイルスの影響で、年々保健室の利用者が増加していましたが、今年度は感染症の大きな流行もなく、利用者は昨年度の半分ほどでした。月別にみると、10月の来室者が多く、他の月と比べると、「頭痛」や「倦怠感」を訴える生徒が多く見られました。曜日別にみると、月曜日と水曜日に来室する生徒が他の曜日に比べて少し多い状況でした。来室する生徒の中には、課題が終わらず全く睡眠をとっていないという生徒もいました。

高校を卒業し、自立するためには、課題に計画的に取り組むことや自分自身で体調管理をしていくことが大切になります。高校3年間で、健康に関する正しい知識を身につけ自己管理ができるようになりましょう。

【養護教諭 田淵 明日香】

服務規律委員会 3月6日(木)

外部委員の森岡潤子様をお迎えして令和6年度の第2回服務規律委員会を開催しました。令和6年度の服務規律に関する取組を各担当から報告し、学校として今年度の服務規律の取組の検証と、来年度の実施計画の検討を行いました。今年度も服務規律で報告すべき大きな事案はなく、個人情報等に配慮した取り組みができていたと思います。

森岡様からは、本校での「働き方改革」が推進され勤務時間等が大きく改善されたことへの評価と、教職員の健康に留意した職場づくりがなされることを期待しますという温かいお言葉をいただきました。来年度に向けて服務規律の取組をさらに徹底していきたいと思います。

【自律育成部主任 前田 敦広】

同窓会入会式 2月28日(金)

卒業式を翌日に控えた2月28日に第77回生の同窓会入会式が行われました。村田同窓会会長から、入会の歓迎と今後の活躍に対する期待を込めた挨拶をいただいた後、77回生の代議員となる濱口元さんが、これまでの同窓会からの支援に対する感謝の言葉と、今後新たに同窓生として西高同窓会の発展に貢献していく決意を力強く述べてくれました。次に、北川真衣さんが入会者を代表して卒業記念品の印鑑を頂戴しました。入会式後に、来賓である東海同窓会本石会長、福岡同窓会山田会長、在京同窓会川下会長、長崎同窓会青年部赤木様から、祝福と各地区同窓会の活動についてお話しいただきました。各地区とも多くの若手同窓生とともに様々な楽しい活動を行っています。今後は後輩の活躍を見守りながら、本校のさらなる発展に力を貸していただけることを期待します。



【同窓会事務局 山本 禎明】

同窓会支援費について

長崎西高同窓会は、さまざまな大会で活躍する部活動の更なる発展のために、毎年、支援費を贈呈する活動を行っています。令和6年度は、支援費を下記の部に贈呈することになりました。それぞれ、期待にこたえられるように、さらなる高みを目指してしっかり頑張ってください。

運動部 野球部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・水泳部(水球)・カヌー部
文化部 生物部・物理部・放送部

【同窓会事務局 山本 禎明】

第77回 卒業証書授与式 3月1日(土)

冬の厳しい寒さが少し緩んだこの日、第77回卒業証書授与式が来賓、保護者、在校生、職員の出席のもと盛大に挙行され、271名の卒業生が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。式では、担任から卒業生一人ひとりの名前が読み上げられた後、総代の道山優香さん(3年4組)に、初村校長から卒業証書が授与されました。初村校長は式辞の中で、「皆さんの人生は常に応用問題の連続であり、知識の豊かさではなく、知識を活用し解決へ導こうと果敢に挑んでいく態度が求められる。持ち合わせた情報や知識を活用し、自分の考えを積極的に前に進めていこうとする意欲、そして、それを楽しむ心のゆとりを持ってほしい。」と、はなむけの言葉を送りました。在校生からの「送ることば」では、在校生代表の登立愛来さん(2年1組)が「先輩方はこれから、この西高からそれぞれの未来へと進んでいかれます。その途中で、困難や大きな環境の変化に直面し、時には悩み、歩みを止めてしまうこともあるかもしれません。そのような時にはぜひ振り返ってみてください。先輩方の後ろには今までたくさんの仲間や先生方、大切な人たちと歩んできたこの西高でのかけがえのない時間があります。西高での思い出がこの先も皆さんを支えてくれるでしょう。」と、卒業生へメッセージを送りました。最後に卒業生代表の沖中陽音さん(3年2組)が「私たちはこれからそれぞれ自分で選んだ道を進みます。その道を進んでいくうちに立ち止まってしまいうこともあると思います。でも、どんな困難が訪れ、不安になることがあっても、きっと大丈夫です。今まで超えてきた試練があります。そして、それに立ち向かってきた過去があります。西高を卒業したことに誇りをもって、前だけを見て進みましょう。」と「別れのことば」を述べました。式終了後にPTA会長の伊藤信博様から保護者を代表して謝辞をいただき、峰教頭が卒業記念品へのお礼を述べた後、在校生からSuperflyの歌「愛をこめて花束を」の合唱が贈られました。その後退場した卒業生は、各教室で最後のホームルームを行い、3年間まもってきた自律の園を後にしました。

【総務部主任 植木 正明】



学年だより

第1学年

早いもので79回生が入学して一年が経とうとしております。先日、お世話になった77回生が卒業しました。先輩方の今後の活躍を祈るばかりです。

この一年を振り返ると、「あっという間だった」という感想が真っ先に出てきますが、その日その日で様々な葛藤を抱えながら何とか登校したり、友人たちと楽しく笑いあいながら学習したりと、いろいろな思い出ができたと思います。2年生ではそれぞれの進路実現に向けて、文系・理系でクラスが分かれ、より高度な学習が求められます。これからは様々な悩みを抱える場面が出てくるとは思います。そんな時でも、一人ひとりのポテンシャルを十分に発揮し、明るく前を向いて、一歩、また一歩と歩みを進めてくれればと期待しています。

保護者の皆様へ

79回生が入学して以来、温かい目で見守っていただき、大変感謝しております。これからも一人ひとりの高い目標の実現に向けてお子様と共に努力していこうと思います。一年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

【第1学年主任 浦 史子】

第2学年

一瞬をあげよ 涯遠くへ

時の経つのは本当に早いものです。78回生が西高に入学し、丸2年の月日が経とうとしています。最上級生たる学年を目前にして今、心に過ぎるのは「期待」と「不安」。さて、私たちにたくさんの楽しい思い出があります。ベトナムの修学旅行然り、日々の授業や部活動においても78回生と過ごした日々にはいつも笑顔があふれていました。一年後には、その朗らかな笑顔のままこの母校を卒業し、次なる新天地で明るく元気に大活躍してもらいたいと願っています。そして、その理想を実現すべく、今年一年はみんなで力を合わせ頑張りましょう。「期待」と「不安」が入り混じった一年となるのは当然のことです。その「不安」も丸ごと自分自身だと受け入れて、明確な将来への展望を持ち続けてほしいと思っています。そして簡単には折れない粘り強さ、日々の努力を大切にしましょう。一度にたくさんのことはなかなかできません。少しずつ一歩ずつ自分を高めてほしいと思っています。辛く苦しい時こそ分かれ合いながら、ここ西高での生活を充実したものにしてもらいたいと期待しています。

保護者の皆さまへ

78回生の入学以来、いつも生徒たちの姿を温かく見守っていただき感謝申し上げます。これからも高い理想の実現に向け、生徒とともに努力していきたいと考えています。一年間本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

【第2学年主任 石橋 可巳】

《1月長距離走大会より》



大学合格状況 3月24日（月）現在（国公立大学前期試験発表まで）

令和7年度入試（W77）合格状況

大 学 名	現役計	既卒計	総計
東 京 大	4		4
京 都 大	2	4	6
大 阪 大	4	2	6
九 州 大	28	2	30
名 古 屋 大	1		1
東 北 大	1		1
神 戸 大	3	3	6
難 関 大 計	43	11	54

長 崎 大	50	11	61
九 州 工 大	5		5
福 岡 教 育 大	1		1
佐 賀 大	5	1	6
熊 本 大	13		13
大 分 大	4		4
宮 崎 大	1	1	2
鹿 児 島 大	1		1
宮 城 教 育 大	1		1
筑 波 大	3		3
茨 城 大	1		1
千 葉 大	4		4
お 茶 の 水 女 子 大	2	1	3
東 京 外 大	2		2
横 浜 国 立 大		1	1
滋 賀 大		1	1
京 都 工 芸 繊 大		1	1
京 都 教 育 大	1		1
大 阪 教 育 大	1		1
奈 良 女 子 大	1		1
島 根 大		1	1
岡 山 大	4		4
広 島 大	9	3	12
山 口 大	9	1	10
国 立 大 学 計	161	33	194

大 学 名	現役計	既卒計	総計
長 崎 県 立 大	2	2	4
福 岡 女 子 大	2		2
横 浜 市 立 大	1		1
名 古 屋 市 立 大	1		1
山 口 東 京 理 科 大	1		1
公 立 大 学 計	7	2	9

国 公 立 大 学 計	168	35	203
-------------	-----	----	-----

国 公 立 大 医 ・ 医	10	4	14
国 公 立 大 ・ 歯		5	5
国 公 立 大 ・ 薬	6	1	7

令和7年3月24日現在

大 学 名	現役計	既卒計	総計
慶 応 大	3	2	5
早 稲 田 大	6	2	8
上 智 大	3		3
東 京 理 大	1	4	5
明 治 大	7		7
青 山 学 院 大	2		2
立 教 大	7		7
中 央 大	6	1	7
法 政 大	11		11
芝 浦 工 大	1	4	5
関 西 大	8		8
関 西 学 院 大	11	2	13
同 志 社 大	6	2	8
立 命 館 大	11	4	15
近 畿 大	3	11	14
西 南 学 院 大	19	1	20
福 岡 大	44	1	45
活 水 女 子 大	1	1	2
長 崎 純 心 大	5		5
長 崎 総 合 科 学 大	1		1
長 崎 国 際 大	4		4
そ の 他 の 私 立 大 学	46	10	56
私 立 大 学 計	206	45	251

離退任される先生方より

【 】の中は、在職期間と転出先

⊗ 小林 英樹 事務長 【通算9年 退職】

施設担当等として6年間、事務長として3年間お世話になりました。担当をしていた時（H9-15）は、創立50周年事業や遅刻坂改修、カリオンの鐘設置など多くの施設の改築や改修工事等に関わることができ感謝しています。今後とも西高らしく発展していつてもらいたいと思っています。

⊗ 峰 晃人 教頭 【2年 宇久高校】

PTA役員をはじめ保護者の皆様、同窓会、校医の皆様、その他西高にかかわる地域の皆様にはこの2年間大変お世話になりました。皆様のご支援のおかげで西高生が充実した学校生活を送ることができていることに心から感謝申し上げます。

西高生の皆さん、進路決定がゴールではありません。10年後20年後のなりたい自分の姿をしっかりとイメージして、勉強に行事に部活動に励んでください。皆様のご活躍を祈念しております。

⊗ 藤原 秀樹 教諭 【6年 鳴滝高校通信制】

1年生の科学探究講座Ⅰと2・3年生文系の地学基礎の授業担当をしていました。私の声の状態異常の効果で、SLEEP状態になりがちな人もいましたが、共通テストでは結果をしっかりと出してくれていました、今後は状態異常にならず、しっかりと結果を出すように、お願いします。ありがとうございました。

⊗ 北山 智之 教諭 【16年 長崎工業高校】

16年間お世話になりました。多くの事を学べた16年間でした。異動で長崎工業高校に行きますが、これからも長崎西高校を応援しています。

⊗ 瀬川 裕子 教諭 【7年 口加高校】

7年間お世話になりました。眉秀でたる若人よ、青春を謳歌し、大好きな母校を創りあげてください。これからも応援しています。

⊗ 増田 裕和 教諭 【6年 学事振興課】

6年間の勤務でしたが、新型コロナウイルス感染症による制限下での、学校生活が一番印象に残っています。「学校とは何か？」を、考えさせられる出来事でした。私は、高校3年間で、「社会（集団）の中における自分」を見出すことが大切だと考えています。だからこそ、勉強+「α」の「α」を大切にしてください。今後も、西高生の活躍を陰ながら応援しています。

⊗ 荒川 育代 教諭 【7年 青雲高校】

7年間お世話になりました。あたたかい生徒と先生方に囲まれて、本当に学び多く、幸せな時間を過ごすことができました。皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

⊗ 檜山 誠司 教諭 【15年 佐世保西高校】

長きに渡りお世話になりました。お陰様で刺激の多い毎日を過ごすことができました。また、次の学校で物理を好きになってくれる生徒を増やせるように頑張ります。

⊗ 西井 彩音 教諭 【3年 佐世保中央高校校定時制】

3年間大変お世話になりました。西高で過ごした3年間はとても充実した3年間になりました。今後の西高の発展、卒業生の幸せをお祈りしております。ありがとうございました。

⊗ 山口 龍二 教諭 【3年 五島高校】

3年間お世話になりました。生徒の皆さん、保護者の皆さまのおかげで充実した3年間を過ごすことができました。西高に関わる全ての方のご活躍を祈念しております。五島でも頑張ります。

⊗ 富永 浩嗣 教諭 【2年 諫早附属中学校】

2年間と短い期間でしたが、向上心と個性に溢れた西高生と関わって充実した思い出深い2年間でした。自己成長に集中できる学生時代の経験は実社会にでてからその貴重さを実感できます。今後の益々の健闘と西高の発展を祈念しています。ありがとうございました！

⊗ 竹村 和真 講師 【1年 五島南高校】

1年間大変お世話になりました。みなさんのおかげで毎日がとても充実していました。ここでの経験を活かし、五島南高校でも一生懸命頑張っていきます。ありがとうございました。

⊗ 田頭 邦隆 事務現業 【11年 退職】

事務室で約11年間お世話になりました。西高生の活躍を応援しています。ありがとうございました。

今年度も、現役生・既卒生ともに多くの合格を勝ち取ることができました。今後も本校ホームページで随時結果を更新していきますので、ご確認ください。

【進路指導主事 月川 希】